

令和6年度 2学期始業式 校長あいさつ

令和6年（2024年）8月23日（金）

みなさん、こんにちは。校長の石川です。

夏休みが終わり、いよいよ今日から2学期が始まります。みなさん夏休みはいかがお過ごしでしたか。元気で充実した日々を過ごすことができたでしょうか。夏休み中に行われた各種行事、補習、そして全国高校総体や全国総文祭、各種大会等、皆さんの努力と活躍の様子については多くの先生方よりお話をうかがっています。また、8月1日の慰霊式には100名を超える生徒の皆さんに暑い中ご参列をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。式の後、ご遺族の皆さんともお話をしたのですが、亡くなった親族のことを、今もなお大勢の皆さんに偲んでいただいていることに、感謝の言葉をおっしゃっていただきました。慰霊登山をしていただいた皆さんにもあわせてお礼を申し上げます。

2学期はスタートと同時に様々な行事が続きます。合唱コンクールやとんぼ祭記念講演は3年生の担当が最後に頑張る行事であり、全校クラスマッチは2年生の担当者が手掛ける最初の生徒会行事です。いずれも、生徒会の委員会や協議会を中心に生徒自身の企画運営によって行われてきたものです。周囲の意見をよく聞き、調整を図りながら進めるのが行事企画の難しいところですが、ぜひみんなで良いものを作り上げましょう。

さて、昨年に続き、今年の夏は猛暑日が続く、運動をするのにも、受験勉強を行うにしても暑さとの戦いだったのではないかと思います。地球沸騰化とも呼ばれ、本当に今後が心配されるところなのですが、今日は教室の扇風機の話しをしたいと思います。今、皆さんの教室ではエアコンとともに天井の扇風機が回っていますか。皆さんはこの扇風機がどの学校にも設置されているものだと思っていませんか。答えはノーです。各教室の天井に扇風機が4台も設置されている学校なんて、他の県立高校には存在していません。では、なぜ本校にはすべての教室、特別教室に扇風機が設置されているのでしょうか。

扇風機が本校で設置されたのが、3年生の教室が2010年、1・2年生の教室と特別教室が2011年の夏休みでした。すべての県立高校にエアコ

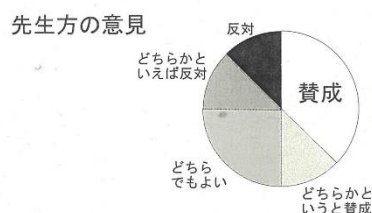
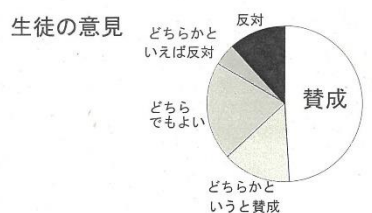
ンが設置されたのが、2018年から2019年にかけてのことです。ちなみになぜエアコンがはいったかという、ちょうどそのころ、文科省から教室の学習環境について通知が出されたことと、現職の知事はその時の知事選挙の公約で、すべての県立高校にエアコンを入れることを約束したからだろうと思います。私の意見ですが。

さて、話を2008年頃に巻き戻します。そのころ、PTAの皆さんが長野高校、上田高校、深志高校の3校持ち回りで情報交換会を行い、交流を行うと



いうことが実施されていました。当時、本校のPTA役員の方々が、長野高校や上田高校を訪問した際、3年生の教室にエアコンが設置されていて、夏休みの補習などが快適に行われることを知って、深志高校も何とかしなければならないという議論が起きました。二つの高校では当時県の予算ではなく、保護者から集めているPTAの教育助成費を用いて3年教室にエアコンを設置していました。他の県立高校でも、PTAの予算により3年の教室にエアコンを設置する動きが始まっているようでした。そうした中、本校でも2009年に、PTAによりエアコンを入れるかどうかの協議が始まりました。3年生の教室だけと言っても、工事を含めると決して安いものではありませんから、PTA会費の値上げの必要性が出てくるかもしれません。保護者からは賛否両論、様々な意見が出る中で、秋には生徒の意見を聞こうと、アンケートによる調査が行われました。暑かった夏の後、きっと大多数の生徒がエアコン導入に賛成し、その動きが一気に進むものとPTA役員の皆さんは考えていました。結果はPTAの役員の皆さんの予想とは、だいぶ違うものとなりました。64%の生徒が賛成だったのですが、約3分の1以上の生徒が、反対や、どちらでも良い、という意見だったのです。反対意見の中には、県の施設なので、エアコンはPTAの予算ではなく、県の予算で設置すべきであるという、至極当然の意見がありました。また冷房により体調を崩す人も少なくないので配慮して欲しいという意見もありました。しかし、最も多かったのは、地球温暖化の警鐘

が鳴らされている現在、環境への負荷が大きくなるのではないか、という意見でした。実は、環境や運用コストに関する心配の声は、賛成に投じた



3年生の教室に冷房設備を導入することについて、どのように考えますか。

(2009年9月アンケート)

PTA 調査統計委員会

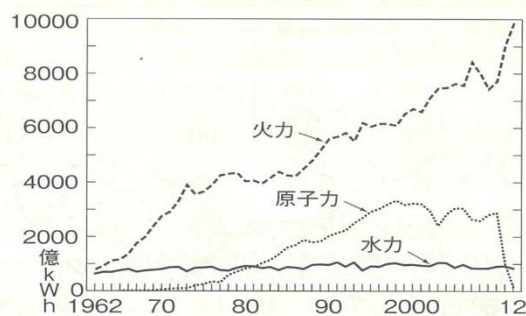
生徒の中からも出されていました。こうした意見を参考に、再度PTA役員、生徒会役員が相談した結果、まずは扇風機をPTA予算で導入しましょうというところに結論が落ち着きました。扇風機なら、全教室に設置できるし、もし今後さらに暑い夏となって、エアコンが必要になった場合もサーキュレーターとして必要性はあるだろうということで、決定したわけです。ある意味、生徒の意見により学習環境が決められるという、他校にはない、深志の自治を感じた場面でもありました。

3年の教室に扇風機が入った2010年の2学期、私は授業をやっていて随分快適になったと感じました。ただ、教壇まで風が届かないのでその点は残念だったのと、

夏休み明けの実力テストの際、扇風機の風に生徒が慣れていないため、テスト用紙が舞い放題になってしまったのに焦ったことを覚えています。

さて、この判断ですが、その後入学した生徒にその話しをしたところ、「何で先輩たちはエアコンを入れてもらわなかったんだ」とかなり批判されたこともありました。ただ、ちょうど扇風機の導入をしていた2011年、

図 10-1 発電電力量の推移 (会計年度)



出典 日本国勢図会 2014/15 より

東日本大震災が発生し、原子力発電がすべてストップし、電力供給が不安定となって、計画停電なんてことも行われることとなり、これまで減らしてきた火力発電に戻るということを我々は目の当たりにしたわけです。太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの比率も今ほどで

はありませんでしたので、1997年の京都議定書で約束し、日本が目指してきた二酸化炭素排出量の縮減目標も達成困難なのではないかと言われる中、結果論ではありますが、深志生の考え方は基本的に間違いではなかったのだということを、その時は強く感じました。8年後、健康や生命を守るために普通教室にエアコンを県が設置することとなったわけですが、あの時生徒から出された、県の施設には県の予算で設備を整えるべきという正論も果たされることとなったわけです。今や、あまり目立たない教室の扇風機ですが、その背景にも深志の先輩たちの問題意識や正論を発する骨太な意見表明力がこもっていることを知っていただければと思い、お話をさせていただきました。一方で、十数年前に比べ遥に暑い夏を過ごすこととなった現代社会ですので、以前のように扇風機で十分、とはなかなか言っていないのですが、社会的な課題、環境課題、平和を願う思いなどは、あの頃と同様に持ち続けていただきたいと思います。

さて、日中はまだまだ暑いですが、朝晩はこれから少しずつ秋の気配を感じるようになると思います。3年生はいよいよ進路に向けた様々な取り組みが始まっていきます。自分を信じて、しかし先生方の助言をしっかり受けながら、決して楽な道のりではないと思いますが、自分の道を切り開いていきましょう。2年生は生徒会や部活などにおいて、リーダーとして任される時期となって来ました。そして1年生も自分らしさを深志で発揮できるよう、様々な取り組みに積極的に臨んでももらいたいと思います。寒暖差で風邪をひかないよう、そして換気や手洗いなどの感染症対策も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、今日は最後に新任の先生をご紹介します。実はALTとして5年間ご勤務いただいていた、ニール・ムルガン先生が母国に戻られることとなり、7月一杯で退職されました。ニール先生には1学期終業式で皆さんにご挨拶をいただきましたかったのですが、ご都合によりご挨拶いただけませんでした。生徒の皆さんには感謝の気持ちをお伝えいただきたいと思います。

そしてこの8月から新たに、ジャスティン・チュー・トン先生をALTとしてお迎えすることとなりました。それではジャスティン先生よりご挨拶をいただきたいと思います。